

<p>1. 山田 忠晴 (公明党)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 重点戦略の「暮らし」において、多文化共生社会の実現に向けて、市民の意識啓発や国際感覚の醸成に努めるとともに、講座を開催しての通訳・翻訳のスキルアップなどに取り組むとしているが、既に多くの外国人市民が働き生活実態もある当市において、どのような「交流展開」や「共生社会」を目指すのか聞きたい。</p> <p>(2) 重点戦略の「産業」において、北前船寄港地フォーラムへの参加を契機に関係を深めた中国・大連市での日本商品展覧会へ出展するとしているが、展覧会をきっかけとした当市産品の中国輸出に向けての波及効果(産品の種類や輸出量等)をどのように見通しているか。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 31 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 移住インフルエンサーの配置を始め移住定住に向けた諸施策に多くの予算を計上しているが、その理由を聞きたい。</p> <p>(2) 消費税引上げに伴う影響緩和のためのプレミアム付商品券事業について、発行目的が果たされるためどう工夫していくか。</p> <p>(3) 新規の森林保育管理事業において、森林経営管理法に基づく取組として未整備森林の調査に着手するが、今後の森林整備にどうつながると期待しているか、聞きたい。</p> <p>3. 議案第 26 号上越市行政組織条例の一部改正について</p> <p>(1) 交流事業も産業観光政策の一つの柱とした「産業観光交流部」を創設するねらいは何か。また、文化振興施策の戦略的推進を図るとして企画政策部へ文化振興に関する事務を移管するねらいは何か。</p>
---------------------------	---

<p>2. 江口 修一 (創風)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 「暮らし」の戦略の中で、「こどもたちのすこやかな育ちを育む“つながり”の強化」の取組のために「上越市子ども・子育て支援総合計画（上越市版エンゼルプラン）」の策定を進めるとしている。策定への市長の思いを聞きたい。</p> <p>(2) 「暮らし」の戦略の中で、「お年寄りのすこやかな暮らしを支える“つながり”の強化」の取組のため、「上越市認知症施策総合戦略（上越市版オレンジプラン）」に基づき、地域において総合的な支援を充実としているが、どの様に地域にくまなく推進していく考えか。</p> <p>(3) 第 2 次財政計画について、最終年度となる平成 34 年度において財政調整基金残高が改定前の計画から改善する見込みとなったが、更に基金が増えていく要素はあるのか。</p> <p>2. 議案第 26 号上越市行政組織条例の一部改正について</p> <p>(1) 市内への経済効果の波及・拡大を図る視点から「産業観光部」を「産業観光交流部」に改め、併せて、「観光振興課」を「観光交流推進課」に改めて、観光地域づくりやインバウンド推進などの観光振興施策と、国内外との交流事業を一体的に企画・実施するとしているが、ねらいを聞きたい。</p>
--------------------------	--

<p>3. 近藤 彰治 (市民クラブ)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 第 6 次総合計画の後期基本計画の重点戦略について以下のことを聞きたい。</p> <p>ア 「暮らし」の戦略の「お年寄りのすこやかな暮らしを支える“つながり”の強化」の中で「ふれあいランチサービス事業」が拡充されたとある。平成 30 年度予算の目標では自己負担金の見直しに向けて検討するとしていたが、前年と同額である。このことについて、見解を聞きたい。</p> <p>イ 「産業」の戦略の「生きがいを持って働けるまちづくり」の中で、「今後の国際交流の在り方に関する調査・研究」を新規事業として行うとしているが、その内容や目的、今後の進め方について聞きたい。</p> <p>ウ 「交流」の戦略の「ひと・もの・情報が行き交う仕組みや体制の整備」の中で、「オーストリア・リリエンフェルト市友好交流訪問事業」が新たに予算化されている。その具体的な内容について聞きたい。</p> <p>(2) 地方創生の上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略における「UIJ ターンとまちの拠点性」の分野について、当市での暮らしの魅力発信や移住相談を行う「移住インフルエンサー」や「移住・定住コンシェルジュ」、当市を訪れ、関わりを深めてもらう機会としての「ふるさとワーキングホリデー」や「移住体験ツアー」の具体的な内容を聞きたい。</p> <p>(3) 新年度の行政組織について、東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進とスポーツ活動の更なる活性化を図るため、スポーツ推進課内の「オリンピック・パラリンピック推進係」を拡充し、「オリンピック・パラリンピック推進室」を設置するとしている。この名称などは時限的なものなのか聞きたい。また、東京オリンピック・パラリンピック終了後もこの名称を継続するのか。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 31 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 平成 29 年度決算、平成 30 年度末の見込み、平成 31 年度当初予算のそれぞれの財政調整基金残高が減少の経緯をたどっている。財政調整基金残高の今後の見通しを聞きたい。</p> <p>(2) 雇用対策事業のインターンシップ促進事業について、この事業の目的に「市内企業等への若者の就労・定着を図る」とあるがどのような効果を見込んでいるのか聞きたい。</p> <p>(3) 中学校学習指導支援事業において、部活動指導員をモデル校に配置し、教員の多忙化解消と部活動運営の円滑化に取り組み、その効果について検証を行うとある。その具体的な内容について聞きたい。</p> <p>3. 議案第 7 号平成 31 年度上越市地球環境特別会計予算について</p> <p>(1) 風力発電事業について、「適切な管理運用に努めると共に、1 号機を除</p>
-----------------------------	---

	<p>く 3 基の風力発電施設の民間譲渡に向けた取組を進めていく」としている。また、事務事業評価の結果においても、平成 31 年度末をもってすべての風力発電施設の停止と特別会計の廃止、民間譲渡に向けた取組を進めるとしている。計画通りに進まなかった場合はどのような取扱いになるのか聞きたい。</p>
--	--

<p>4. 上野 公悦 (日本共産党議員団)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 第 6 次行政改革推進計画の策定において、「徹底した事務事業の見直しや施設の適正配置を進めるほか、第三セクター等について、存廃の検討を含む経営の健全化に向けた取組を進める」という市長の強い意志が示された。市民や施設と関係する地域との意見交換や相互の理解が必要と考えるが、どのように進めるのか。</p> <p>(2) 水族博物館を核とした地域活性化を図るとあるが、以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 「まちなか回遊を促す特典プランづくりなどを支援する」とあるが、グランドオープンからこれまでにどのような取組を行ってきたのか。</p> <p>イ 今までの取組やその効果・変化などを検証した時に、それを地域活性化に向けてどう発展させていこうとしているのか。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 31 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 2 款 1 項 28 目地域振興費の中の移住定住対策事業について、新規事業で、移住インフルエンサーと移住・定住コンシェルジュを配置するとしているが、任務の位置づけやどこからどんな人を招致する考えなのか。</p> <p>(2) 6 款 1 項 3 目農業振興費中、雪中貯蔵施設整備事業について、「平成 30 年度に市が策定した基本構想に基づき、施設の設計を行う」とあり、平成 31 年 2 月 8 日の農政建設常任委員会において、委員からの「雪を利用した冷房を外すべきでない」との意見に対し「何ができるか検討する」としていた。その結果は今回の予算に反映されているのか。また、雪冷房を含む計画とするなら、今回の予算はどういう位置付けとなるのか。</p> <p>(3) 10 款 3 項 2 目教育振興費の中の中学校学習指導支援事業について、「部活動指導員を配置し、教員の多忙化解消と部活動運営の円滑化を図る」としているが、教員ではなく部活動指導員が指導することで本来の部活動の目的や目標が達成できず、競技の結果にこだわるような成果主義になる心配はないか。</p> <p>(4) 10 款 6 項 1 目保健体育総務費の中の地域おこし協力隊制度を活用した体操指導者の配置について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 体操だけに特化した地域おこし協力隊はどのような考え方から出てきたのか。</p> <p>イ 地域おこし協力隊の本来の目的である「定住をめざしながら住民とともに地域の活性化に取り組む」ということとの整合性についてどう考えているか。</p>
--------------------------------	--

	<p>3. 議案第 41 号から議案第 62 号までの各条例の一部改正について</p> <p>(1) 議案第 41 号から議案第 62 号までの条例の一部改正で利用料金の上限額及び使用料、手数料が改定される。中でも温浴施設などは経営環境が厳しい中、消費税率引き上げに対応した料金改定を実施しても支障はないと考えているのか。</p>
<p>5. 小林 和孝 (輝)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 平成 31 年度から第 6 次行政改革推進計画がスタートするが、それに伴い事務事業評価の結果が明らかになった。この評価結果に基づいた行政改革の今後の進め方、手順について聞きたい。</p> <p>(2) 人手不足感の高まりなどから今後の外国人材受入れ及びそのために必要とされる環境・条件について調査するとのことであるが、その内容とその後の展開について聞きたい。</p> <p>2. 議案第 26 号上越市行政組織条例の一部改正について</p> <p>(1) 「産業観光部」、「観光振興課」がそれぞれ「産業観光交流部」、「観光交流推進課」となるが、このことは、「交流」により力を入れ重点化していくものと捉えているが、考えを聞きたい。</p> <p>3. 議案第 34 号上越市福祉交流プラザ条例の一部改正について</p> <p>(1) すこやかなくらし包括支援センターを福祉交流プラザへ移転としているが、その理由を詳しく聞きたい。また、この移転によりどのような効果を期待しているのか。</p>

<p>6. 石田 裕一 (みらい)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 第 6 次行政改革推進計画及び財政計画における「第三セクター等の経営健全化の推進」において、第三セクター等の事業の方向性を検討するに当たり、事業の公共性や公益性は有するが事業の採算性がない場合で、かつ費用対効果が極めて悪い事業にあつては廃止を考えているのかを聞きたい。</p> <p>2. 議案第 34 号上越市福祉交流プラザ条例の一部改正について</p> <p>(1) すこやかに暮らし包括支援センターを福祉交流プラザに移転するメリットは理解できるが、現状と比較して、健康福祉部各課などとの連携においてデメリットは生じないか。また、市民への移転周知をどのようにするのか。</p> <p>3. 議案第 1 号平成 31 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 2 款 1 項 23 目政策研究所費中の今後の国際交流の在り方に関する調査研究について、平成 31 年度は、外国人材の受入れとそのために必要とされる環境・条件を国内外において調査し、今後の施策等の検討につなげていくとしている。この国外とは世界のあらゆる国を想定しているか、また、調査研究業務は全て市職員で行うのか、あるいは外国人材に精通した専門家を活用するのか、考えを聞きたい。</p> <p>(2) 7 款 1 項 2 目商工振興費中の大連日本商品展覧会出展について、同展覧会に市内企業とともに出展するとしているが、出展する商品群や参加する企業の選出方法をどのように考えているか。</p> <p>(3) 10 款 6 項 1 目保健体育総務費中の地域おこし協力隊制度を活用した体操指導者の配置について、体操指導者を地域おこし協力隊員として委嘱するとしているが、体操指導者の経歴や出身地及び着任後の居住や活動内容を聞きたい。また、委嘱期間は 3 年になると思うが、その後の定住についてどう考えているか聞きたい。</p>
---------------------------	---